

# 多頭飼育崩壊の悲劇を止めよう! ①

無秩序にペットが増えた結果、飼い主が適正に飼育できる数を超えて、経済的にも破綻する状況を多頭飼育崩壊と言います。これは、どこかの街の特別な話ではありません。新潟県では猫の収容の約半数が多頭飼育由来というデータもあります。(平成28年度)

多頭飼育崩壊は私たちの身近でいつでも起こりうる問題なのです。



猫多頭飼育崩壊 (新潟市 2007年～2008年)



多頭飼育崩壊 (新潟市 2017年)

多頭飼育崩壊している自覚がないケース。病気が蔓延している

## 何が問題なの?

- 爆発的に増えて、制御不能に

猫は1年間に2回から3回の出産をします。いったん数が増え始めると、爆発的に増えてしまい、繁殖制限手術の費用も莫大になってしまいます。

- 動物愛護のはずが、動物虐待に

十分な世話ができずに、共食いや、近親交配による奇形、病気の蔓延が起きてしまいます。これは、ネグレクトによる動物虐待と言えます。

- 人も動物も不幸に

好きだから飼いだめたにも関わらず、飼い主自身の生活を破綻させてしまうのが多頭飼育崩壊の恐ろしさです



大規模レスキューから破綻した動物愛護団体 (新潟市)